

様式第22号（第5条関係）

令和 5 年 3 月 31 日

笠岡市長 殿

所在地	笠岡市飛島5923-1
協議会名	飛島自治振興会
協議会長名	会長 山本吉太郎

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）実績報告書

令和 4 年 4 月 1 日付け笠岡市指令協第 40 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第5条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

1 交付金決算額 1,600,000 円

〔内訳〕

（単位：円）

交付決定額 ①	交付金決算額	
	当該年度支出額 ②	次年度繰越額 ③
1,600,000	1,600,000	0

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書（様式第24号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書
(様式第25号又は様式第25号の1)
- (3) 支払書類（レシート等）の原本（活動ごとに取りまとめたもの）
- (4) 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- (5) その他参考となる書類

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 飛島自治振興会

活動No	1
活動名	島内交通
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	公共交通機関のない飛島において、島民の移動手段を確保することは生活上最も重要な役割である。島内の移動や荷物の運搬などは、島民に限らず帰省者にも必要とされている。安全・安心が確保された島内交通事業により、島民が安心して暮らせる地域づくりに貢献することを目的とする。
【効果】	島民の交通手段となることで、買い物や通院などに安心して通うことができる。

2 実施期間

令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日
 (計画期間 11 年中 11 年目)

3 実施場所

飛島島内道路

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 5 人（ア+イ）
 （内訳）企画運営に関わった人数： 3 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 2 人（イ）
 ○団 体： （団体名） 飛島自治振興会 ， （団体名） 集落支援員
 （団体名） 一般社団法人飛島学園 ， （団体名）

5 実施内容

1日6回の定期船の寄港に合わせて、島民の搬送、荷物の運搬にあたる。担当者は、定期船の寄港のたびに、前後30分程度島内交通業務のため島内に待機する。

6 決算額

1,261,305 円（うち交付金分 1,250,000 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	年間365日、1日6回の定期線寄港にともなう島民の送迎や荷物の運搬を問題なく実施できた。
【課題】	定期船の寄港のみならず、島内の移動手段としてのニーズも高まってきている。拘束時間があるために外出できないなど、担当者の負担が大きい。

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金 (活動交付金) 収支決算書

協議会名 飛島自治振興会

活動No	1
活動名	島内交通

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 1,250,000	1,250,000	0	当該年度分
その他収入	0	11,305	△ 11,305	
自主財源		11,305	△ 11,305	
			0	
			0	
計	1,250,000	1,261,305	△ 11,305	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	1,157,000	1,071,000	86,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	93,000	190,305	△ 97,305	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	1,250,000	1,261,305	△ 11,305	決算額のうち市交付金分 ② 1,250,000

市交付金の余剰金 ①-② 0 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 円 返還額 ④ 0 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 島内交通

費目 報償費

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	4	30	担当者	1,000円×対応回数	85,000	85,000
2	4	5	31	担当者	1,000円×対応回数	88,000	173,000
3	4	6	30	担当者	1,000円×対応回数	86,000	259,000
4	4	7	31	担当者	1,000円×対応回数	101,000	360,000
5	4	8	31	担当者	1,000円×対応回数	116,000	476,000
6	4	9	30	担当者	1,000円×対応回数	77,000	553,000
7	4	10	31	担当者	1,000円×対応回数	77,000	630,000
8	4	11	30	担当者	1,000円×対応回数	77,000	707,000
9	4	12	31	担当者	1,000円×対応回数	114,000	821,000
10	5	1	31	担当者	1,000円×対応回数	83,000	904,000
11	5	2	28	担当者	1,000円×対応回数	78,000	982,000
12	5	3	31	担当者	1,000円×対応回数	89,000	1,071,000
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						1,071,000	

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 島内交通

費目	需用費	修繕料
----	-----	-----

No. 1 ↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	2	4	西山モータース	車両整備	45,550	45,550
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						45,550	

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 島内交通

費目 需用費 燃料費

No. 1 ↑ドロッパダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	4	19	スズキ特機ハウス東中国(株)	ガソリン代	22,760	22,760
2	4	6	19	スズキ特機ハウス東中国(株)	ガソリン代	17,639	40,399
3	4	8	9	スズキ特機ハウス東中国(株)	ガソリン代	19,160	59,559
4	4	9	25	スズキ特機ハウス東中国(株)	ガソリン代	22,890	82,449
5	4	11	3	スズキ特機ハウス東中国(株)	ガソリン代	23,070	105,519
6	5	1	9	スズキ特機ハウス東中国(株)	ガソリン代	19,413	124,932
7	5	2	11	スズキ特機ハウス東中国(株)	ガソリン代	19,823	144,755
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						144,755	

自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 1

協議会名	飛島自治振興会
活動名	島内交通

活動目的	公共交通機関のない飛島において、島民の移動手段を確保することは生活上最も重要な役割である。島内の移動や荷物の運搬などは、島民に限らず帰省者にも必要とされている。安全・安心が確保された島内交通事業により、島民が安心して暮らせる地域づくりに貢献することを目的とする。
実施内容	1日6回の定期船の寄港に合わせて、島民の搬送、荷物の運搬にあたる。担当者は、定期船の寄港のたびに、前後30分程度島内交通業務のため島内に待機する。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域のみならず共有することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	2
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとらえて、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果 年間365日、1日6回の定期線寄港にともなう島民の送迎や荷物の運搬を問題なく実施できた。	現状と課題 定期船の寄港のみならず、島内の移動手段としてのニーズも高まってきている。拘束時間があるために外出できないなど、担当者の負担が大きい。
--	--

今後の活動の方向性・改善策

笠岡市から配備された電気自動車を活用することで、車両整備や燃料代等の経費負担が軽減され、集落支援員と担当者との連携により、持続可能な事業となる展望が見えてきた。

様式第24号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 飛島自治振興会

活動No	2
活動名	デイサービス
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	高齢者の定期的な集いの場を提供し、ひきこもりの防止を行うとともに、身体機能の維持・向上を目的としたリハビリを行う。
【効果】	高齢者のひきこもりを防止し、身体機能の維持・向上等の介護予防の促進を図り、健康を維持することが期待できる。

2 実施期間

令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日
 (計画期間 年中 年目)

3 実施場所

旧飛島幼稚園

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 16 人（ア+イ）
 （内訳）企画運営に関わった人数： 6 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 10 人（イ）
 ○団体： （団体名） 飛島婦人会 ， （団体名） 集落支援員
 （団体名） ， （団体名）

5 実施内容

毎週水曜日の午前中に集まり（車による送迎）バイタルチェックや身体機能の維持・向上を目的としたリハビリ運動を行い、島民同士の交流を促進するサロンを開催する。

6 決算額

250,000 円（うち交付金分 250,000 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	参加者の健康状況を把握でき、情報交換の場となっている。
【課題】	参加者が固定している。機器の不具合などがあるため計画的な修理、更新が必要である。

様式第 25 号（第 5 条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 飛島自治振興会

活動No	2
活動名	デイサービス

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 250,000	250,000	0	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	250,000	250,000	0	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	250,000	250,000	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費		0	0	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	250,000	250,000	0	決算額のうち市交付金分 ② 250,000

市交付金の余剰金 ①-② 0 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 円 返還額 ④ 0 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 デイサービス

費目 報償費

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	4	11	18	担当者1	4月～9月分報償費	22,000	22,000
2	4	11	18	担当者2	4月～9月分報償費	22,000	44,000
3	4	11	18	担当者3	4月～9月分報償費	22,000	66,000
4	4	11	18	担当者4	4月～9月分報償費	34,000	100,000
5	4	11	18	担当者5	4月～9月分報償費	22,000	122,000
6	4	11	18	担当者6	4月～9月分報償費	16,000	138,000
7	5	3	31	担当者1	10月～3月分報償費	20,000	158,000
8	5	3	31	担当者2	10月～3月分報償費	20,000	178,000
9	5	3	31	担当者3	10月～3月分報償費	16,000	194,000
10	5	3	31	担当者4	10月～3月分報償費	26,000	220,000
11	5	3	31	担当者5	10月～3月分報償費	24,000	244,000
12	5	3	31	担当者6	10月～3月分報償費	6,000	250,000
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						250,000	

自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 2

協議会名	飛島自治振興会
活動名	デイサービス

活動目的	高齢者の定期的な集いの場を提供し、ひきこもりの防止を行うとともに、身体機能の維持・向上を目的としたリハビリを行う。
実施内容	毎週水曜日の午前中に集まり（車による送迎）バイタルチェックや身体機能の維持・向上を目的としたリハビリ運動を行い、島民同士の交流を促進するサロンを開催する。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域のみんなで共有することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	4
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	4
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
参加者の健康状況を把握でき、情報交換の場となっている。	参加者が固定している。機器の不具合などがあるため計画的な修理、更新が必要である。

今後の活動の方向性・改善策

参加者が固定しているため、参加しない島民への積極的な呼びかけが必要ではあるが、集う場を好まない島民もいるため、訪問による健康観察や状況確認も検討する。

様式第24号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 飛島自治振興会

活動No	3
活動名	ごんせい飛島観光事業
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	飛島には約600本のやぶ椿が自生していると言われており、その椿にかかわる島の文化や景観、椿関連商品が笠岡ブランドとして認定されている。椿や島内の景観を整備を推進することで、飛島を訪れるリピーターを増やすことを目的とする。
【効果】	椿や島内の景観を整備を推進することで、飛島を訪れるリピーターを増やし、持続可能な島民との交流や関係を深めることが期待できる。また、伝統的な椿事業を守り続けることに繋がる。

2 実施期間

令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日
 (計画期間 1 年中 1 年目)

3 実施場所

飛島全域、飛島つばき研究所、まちづくり協議会事務所

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 20 人（ア+イ）
 （内訳）企画運営に関わった人数： 4 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 16 人（イ）
 ○団 体： （団体名） 飛島自治振興会 ， （団体名） 飛島ガーディアンプロジェクト
 （団体名） 集落支援員 ， （団体名）

5 実施内容

椿油の生産・販売
 島内の環境整備

6 決算額

108,000 円（うち交付金分 100,000 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	コロナによるイベント自粛が続いたが道の駅等の販売が安定してきた。椿事業に従事できる人員が少なくなるなかで、安定的な販売システムが構築できた。
【課題】	収穫量の減少、作業人員の確保が課題である。

様式第25号（第5条関係）

令和 4 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 飛島自治振興会

活動No	3
活動名	ごんせい飛島観光事業

【収入の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 100,000	100,000	0	当該年度分
その他収入	0	8,000	△ 8,000	
自主財源		8,000	△ 8,000	
			0	
			0	
計	100,000	108,000	△ 8,000	

【支出の部】

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	100,000	108,000	△ 8,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費		0	0	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	100,000	108,000	△ 8,000	決算額のうち市交付金分 ② 100,000

市交付金の余剰金 ①-② 0 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 円 返還額 ④ 0 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 ごんせい飛島観光事業

費目 報償費

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1		8	28	参加者	3,000円×20人	60,000	60,000
2		9	4	参加者	3,000円×16人	48,000	108,000
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						108,000	

自己評価シート

(令和 4 年度)

No. 3

協議会名	飛島自治振興会
活動名	ごんせい飛島観光事業

活動目的	飛島には約600本のやぶ椿が自生していると言われており、その椿にかかわる島の文化や景観、椿関連商品が笠岡ブランドとして認定されている。椿や島内の景観を整備を推進することで、飛島を訪れるリピーターを増やすことを目的とする。
実施内容	椿油の生産・販売 島内の環境整備

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域のみinnで共有することができたか。	3
	活動に参加するinnで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてinnで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
コロナによるイベント自粛が続いたが道の駅等の販売が安定してきた。 椿事業に従事できる人員が少なくなるなかで、安定的な販売システムが構築できた。	収穫量の減少、作業人員の確保が課題である。

今後の活動の方向性・改善策

イベントではなく道の駅等への販売で事業を安定化させる方向性。
納品、販売状況のチェックに負担が大きい。担当できる人材の確保が課題である。